

昭和55年7月1日

## 第158号

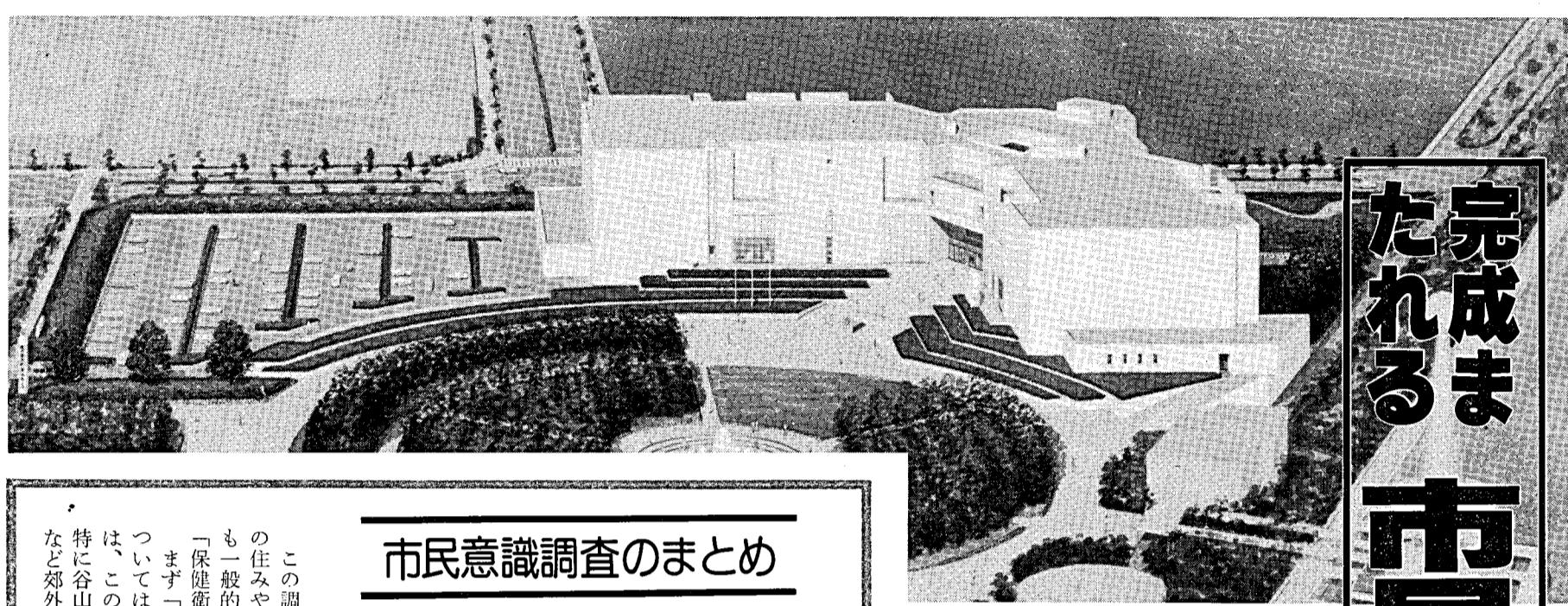
編集と発行  
鹿児島市広報課  
鹿児島市山下町11番1号 TEL 892-1111  
市役所でのんわ 24



# かごしま 市民のひろば

## 市の人口（推計）

(55. 6. 1)		(前年同月比)
人口総数	498,987人	(+ 7,436人)
男	236,741人	(+ 3,649人)
女	262,246人	(+ 3,787人)
世帯数	164,346世帯	(+ 2,779世帯)



# 完成ま たれる 市民文化ホ ール

## 来春一月いよいよ着工

世界の音楽や演劇を最新の施設で——みんながその完成を待ち望んでいる「市民文化ホール」の基本計画がまとまりました。これは、人口五十万人到達の記念事業として、市が取り組んでいるものです。その概要について紹介しましょう。

ホールを建設する場所は与次郎ヶ浜マリンパーク前広場の北側の一画です。最新設備の二つのホールを中心とした地上五階地下一階

のL字形の建物で、延べ床面積が約一万九千平方メートルもある大規模なものです。

まず第一ホールは、音楽的催

約二百六十台の車が収容できる駐車場となります。総工費は約七十億円。着工は来年一月で、開館は昭和五十八年二月の予定となっています。

また、建物のすぐ西隣りは鹿児島市の中でも多くなっている人

この調査結果の中から、最も一般的な「生活環境の快適さ」「保健衛生」についてみますと、最も評価の高い項目は、「生活環境の快適さ」です。特に谷山、伊敷、東桜島、吉野など郊外地域で満足している人

が多いのは当然として、上町地区や八幡地区でも多くなっています。また、特徴的なこととしては、となり近所のつきあいがなかなかことが数字にも表われています。特に谷山地域と東桜島地域、それに中央地域では荒田地区、八幡地区で満足している人が多くなっています。しか

## 自然環境・近所づきあい

し、道路については、広さなどの点で郊外地域を中心に一部で不満足な人が多い地区があります。また、保健衛生についても、上水道、ごみ・し尿の収集など衛生面での満足度が高い反面、休日・夜間診療については全市にわたって不満足な人が多く、きわどっています。

こうしてみると、満足・不満足の度合は、地区や項目によつて様々ですが、とり近所のつきあいがよく、鹿児島市に対する全体評価は、自然に恵まれてとなり近所のつきあいがよく、鹿児島市に対する評価になっています。このことは市外への転出希望者の少ないことからもわかります。

鹿児島市の将来の都市像につけては、「自然環境を大切にし公害や災害などのないまち」を理想とする人が最も多いよう

しに重点を置いた扇形の単層バルコニー形式の多目的ホールで、客席数二千席です。特に音響効果については、設計上細かな配慮がなされています。またリハーサルのできる練習室も設けられます。次に、第二ホールは、演劇の催しに重点をおいた単層バルコニー形式の多目的ホールで、客席数九百三十二です。そのほかには、四百人収容の市民ホールや三つの会議室をはじめ、茶室や姉妹都市ルーム、レストランなどが設けられます。

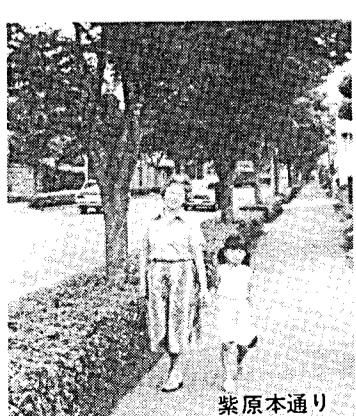
そのほかには、四百人収容の市民ホールや三つの会議室をはじめ、茶室や姉妹都市ルーム、レストランなどが設けられます。

次に、第二ホールは、演劇の催しに重点をおいた単層バルコニー形式の多目的ホールで、客席数二千席です。特に音響効果については、設計上細かな配慮がなされています。またリハーサルのできる練習室も設けられます。次に、第二ホールは、演劇の催しに重点をおいた単層バルコニー形式の多目的ホールで、客席数九百三十二です。そのほかには、四百人収容の市民ホールや三つの会議室をはじめ、茶室や姉妹都市ルーム、レストランなどが設けられます。

そのほかには、四百人収容の市民ホールや三つの会議室をはじめ、茶室や姉妹都市ルーム、レストランなどが設けられます。

## 五十万都市を迎えて

山之口 安秀



柴原本通り

## みどり散歩みち

（はじめておきましょう。）



図1. 地域環境、日常生活などについての  
全市的な満足度

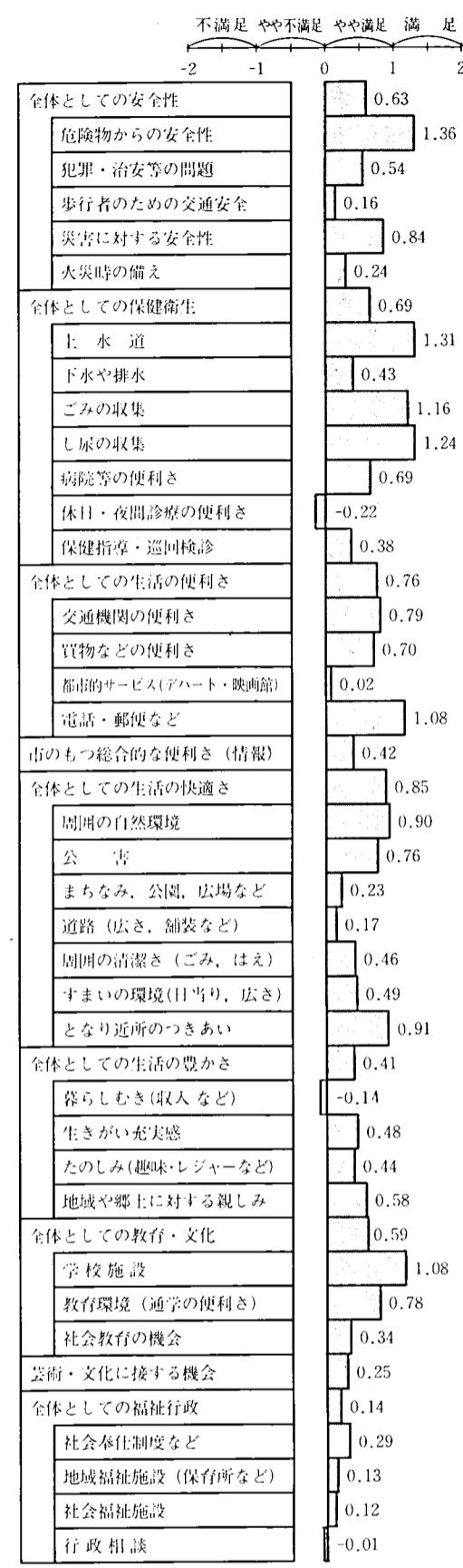


図2 鹿児島市の将来像

	生活施設の 整ったまち	公害や災害の ないまち	人々を大切教育文化水準 にするまちの高いまち	産業経済の観 光無記入	弱い立場の さかななまちのまち	%
全 市	17.6	31.2	11.2	14.7	20.5	31.17
中 央	17.4	29.8	11.5	16.5	19.0	40.18
谷 山	20.6	34.3	9.3	10.3	21.6	15.25
伊 敷	16.0	32.0	13.6	13.6	22.4	24
東桜島	21.1	18.3	21.1	10.1	25.7	09.28
吉 野	15.1	35.5	8.6	11.8	26.9	22

図3 永住希望

	これからも住みたい	できれば 移りたい(市内)	できれば 移りたい(市外)	いのところ わからない	無記入 人	%
全 市	61.1	13.2	35	21.1	10	
中 央	59.4	14.8	33	20.8	11	
谷 山	66.7	74	49	19.6	15	
伊 敷	56.8	16.0	08	26.4		
東桜島	56.9	20.2	46	17.4	09	
吉 野	68.8	86	11	20.4	11	

## 市民意識調査から(抜すい)



### 今後の市政に反映

**= 調査の方法 =** 【調査期間】…3月1日～15日  
【調査対象】…市内を中央、谷山、伊敷、東桜島、吉野の5つのブロックに分け、それぞれの地域の有権者（20歳以上の男女）の中から選んだ市民2,000人  
【調査方法】…郵送返信回収法 【回収率】…63.6%

自分の住んでいる地域の環境や日常生活の満足度を「安全性」「保健衛生」「便利さ」「快適さ」「生活の豊かさ」「教育文化」「福祉」「全体評価」の八つの要因別に分け、四十三の項目について、それぞれに「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満」の四段階で調査し、市民がどのような点に満足し、どのような点に不満をもっているかを全市レベル、地域レベル、地区レベルおよび対象者属性別に調査しました。また、その評価にあたっては、「満足」にプラス2点、「やや満足」にプラス1点、「やや不満足」にマイナス1点、「不満足」にマイナス2点を加え、加重平均により平均評価値を求めました。(図1参照)

自分の暮らしむきに  
ついては大半が不満

八つの要因のうち、すでに面で取りあげた要因を除くもので特色のある事項についてご紹介しますと、

備えについても不満足と考えている人が多くなっています。しかし、全体的にみると、鹿児島市の安全性は満足とする人が多く、特に「工場やガソリンスタンドなどの危険物からの安全性」については、住居地域に工場などが少ないことからか、より満足と考える人が多いようです。

次に「生活の便利さ」についてふれてみますと、このことは当然ながら、地理的な要因に大きく左右されており、中心部ほど満足と答えた人が多く、郊外に至るほど不満足と感じる人は多くなっています。この傾向は、都市サービス（デパートや喫茶店、映画館など）の面で顕著となっています。

また、「生活の豊かさ」については、自分自身の暮らしむき

**将来像は公害や災害のないまちがトップ**

(収入や貯蓄)などで不満足と思っている人が満足と思っていて、住んでいる地域にはほとんど関係がないようです。

最後に全体評価としては、地域によりばらつきがあるものの「やや満足」となっています。

いま住んでいる地域にこれも  
らも住みたいかとの問い合わせに対  
ては、永住希望者が六割で、移  
転希望者が二割にも及んでいます。  
しかし、市外への転出希望者  
者はわずかです。(図3参照)  
これを地区別にみると、吉野  
地区(七二・一%)で、続いて  
山北部地区、八幡地区で七割  
超えています。また逆に最も少  
いのは、宇宿地区(四四・八%)  
でこれに鴨池地区、郡元地区が  
続いています。

**市外へ移りたい人  
はわずか3・5%**

災害のかいしゃち」を理想のまちとしてあげています。その他、中央、東桜島、川上の各地区では「産業・経済のさかんなまち」、また、鴨池地区では、「生活関連施設の整ったまち」を、黒神・高免地区では「弱い立場の人大切なまち」を理想のまちとして多くの人が望んでいます。

設の整ったまち」、「教育・文化水準の高いまち」、「弱い立場の人を大切にするまち」などが同じくらいの支持を得て、これに統いています。(図2参照)

また地区別では、二十一地区のうちで、十六地区が「公害や

市では、このほど市政の動きや街の話題などを楽しく写真中心に紹介するグラフ誌『市民フォト鹿児島』を創刊しました。大きさはA4版(週刊誌より一回り大きい),28ページ年4回(6月, 9月, 12月, 3月)発行します。発行部数は3,800部。人が集まる病院や金融機関の待合室, 理・美容院などに配布していますので、ぜひ一度ご覧ください。

## 親子キャンプのつどい



**対象者** 市内に居住の小・中学生をもつ家族  
**実施日** 第1回=7月29日～31日 第2回=8月  
5日～6日 第3回=8月19日～20日  
**申込み方法** 往復ハガキに住所、参加者全員の氏名、  
子どもの学校、学年、希望日を記入のう  
え、7月5日～7月12日までに  
**申込み先** 〒892 市内吉野町11078の4  
市立少年自然の家 (40-03-33)

潮騒と松林の中で楽しい仲間づくりを…

## 勤労青少年のキャンプのつどい



と き…7月26日～27日 ところ…今和泉キャンプ場  
対象者…市内の事業所に働く25歳以下の青少年  
参加料…2,000円 定 員…120人(先着順)  
申込み…参加料を添えて7月15日(火)までに勤労青  
少年ホームへ  
問合せ先 市勤労青少年ホーム(555-771)







